



2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年11月10日

上場会社名 株式会社大気社 上場取引所 東
 コード番号 1979 URL <https://www.taikisha.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 考二
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 管理本部長 (氏名) 中島 靖 (TEL) 03-5338-5051
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 2021年11月30日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	92,413	13.3	2,763	△13.4	3,558	△4.2	1,687	△45.1
2021年3月期第2四半期	81,590	△22.3	3,191	△57.8	3,712	△51.7	3,070	△42.8

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 3,347百万円(△28.2%) 2021年3月期第2四半期 4,664百万円(16.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	49.52	—
2021年3月期第2四半期	90.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	222,084	127,446	55.0
2021年3月期	228,855	126,311	52.9

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 122,061百万円 2021年3月期 121,033百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	30.00	—	60.00	90.00
2022年3月期	—	30.00			
2022年3月期(予想)			—	70.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	205,000	1.2	9,000	△23.0	10,000	△18.6	6,000	△27.5
								176.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー 社 (社名) ー 、 除外 ー 社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2022年3月期2Q	35,082,009株	2021年3月期	35,082,009株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	998,259株	2021年3月期	1,013,823株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2022年3月期2Q	34,074,861株	2021年3月期2Q	34,068,392株

(注) 当社は、「株式給付信託(BBT)」を導入しており、期末自己株式数には、本信託に係る信託財産として株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式(2022年3月期2Q 120,700株、2021年3月期 136,400株)が含まれております。
 また、当該信託口が保有する当社株式を、期中平均株式数の算定上控除する自己株式(2022年3月期2Q 129,671株、2021年3月期2Q 136,400株)に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、2021年11月16日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定であります。この説明会で配布した資料等については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11
3. (参考) 四半期財務諸表 (個別)	12
(1) 四半期貸借対照表 (個別)	12
(2) 四半期損益計算書 (個別)	14
4. 補足情報	15
(1) 四半期受注工事高、完成工事高及び繰越工事高の状況 (連結)	15
(2) 四半期受注工事高、完成工事高及び繰越工事高の状況 (個別)	16
(3) 地域に関する情報	17

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、欧州や米国など先進国では新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の進行に伴い持ち直しの動きが広がりましたが、新型コロナウイルス感染症の再拡大、原材料価格の高騰や半導体供給の不足等により、先行きの不透明感が増しました。東アジアでは中国において、好調な輸出を背景に製造業を中心に景気回復が継続していましたが、その回復ペースはやや鈍化しました。東南アジアでも新型コロナウイルス感染症の再拡大により回復ペースが鈍化しました。日本経済は、企業の設備投資、生産及び輸出ともに持ち直しが見られました。

当社グループにおける市場環境につきましては、国内市場では首都圏におけるオフィスビルの建設需要が好調であり、医薬品メーカーや電子部品メーカーなどによる投資も堅調に推移しました。一方、海外市場では新型コロナウイルス感染症の影響による不透明感が続いております。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間における受注工事高は、国内で増加したものの、海外で減少し、879億29百万円(前年同期比7.0%減少)となり、うち海外の受注工事高は、333億23百万円(前年同期比32.8%減少)となりました。

完成工事高は、国内、海外ともに増加し、924億13百万円(前年同期比13.3%増加)となり、うち海外の完成工事高は、442億72百万円(前年同期比29.7%増加)となりました。

利益面につきましては、完成工事総利益は130億9百万円(前年同期比30百万円増加)、営業利益は27億63百万円(前年同期比4億28百万円減少)、経常利益は35億58百万円(前年同期比1億54百万円減少)、親会社株主に帰属する四半期純利益は16億87百万円(前年同期比13億83百万円減少)となりました。

なお、会計方針の変更として、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。詳細については、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」に記載しております。

セグメントごとの業績(セグメント間の内部取引高を含む)は次のとおりであります。

環境システム事業

受注工事高は、海外では前年同期にタイの大型案件があった反動減の影響で産業空調分野では減少したものの、国内では首都圏におけるオフィスビルの建設需要を取り込んだことによりビル空調分野で増加し、環境システム事業全体として前年同期を上回りました。完成工事高は、国内の産業空調分野で減少したものの、国内のビル空調分野及びタイなどで増加し、環境システム事業全体として前年同期を上回りました。

この結果、受注工事高は、614億52百万円(前年同期比3.3%増加)となりました。このうちビル空調分野は、245億57百万円(前年同期比51.9%増加)、産業空調分野は、368億94百万円(前年同期比14.8%減少)となりました。完成工事高は、587億9百万円(前年同期比2.4%増加)となりました。このうちビル空調分野は、198億85百万円(前年同期比13.5%増加)、産業空調分野は、388億24百万円(前年同期比2.5%減少)となりました。セグメント利益(経常利益)につきましては、33億59百万円(前年同期比11億1百万円減少)となりました。

塗装システム事業

受注工事高は、中国や北米などで増加したものの、前年同期に欧州における大型案件受注があった反動減の影響で、前年同期を下回りました。完成工事高は、国内、欧州などで増加し、前年同期を上回りました。

この結果、受注工事高は、264億77百万円(前年同期比24.4%減少)となり、完成工事高は、337億4百万円(前年同期比38.9%増加)となりました。セグメント損失(経常損失)につきましては、4億9百万円(前年同期は10億56百万円のセグメント損失(経常損失))となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は前連結会計年度末に比べ4.4%減少し、1,581億70百万円となりました。これは受取手形・完成工事未収入金等が94億34百万円、現金預金が54億81百万円それぞれ減少したことなどによります。

当第2四半期連結会計期間末の固定資産は前連結会計年度末に比べ0.7%増加し、639億13百万円となりました。これは有形固定資産が6億16百万円、退職給付に係る資産が4億80百万円それぞれ増加し、繰延税金資産が6億37百万円、のれんが1億39百万円それぞれ減少したことなどによります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末に比べ3.0%減少し、2,220億84百万円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は前連結会計年度末に比べ11.9%減少し、766億5百万円となりました。これは短期借入金が61億38百万円増加し、支払手形・工事未払金等が115億47百万円、未成工事受入金が29億76百万円それぞれ減少したことなどによります。

当第2四半期連結会計期間末の固定負債は前連結会計年度末に比べ15.4%増加し、180億32百万円となりました。これは長期借入金が12億37百万円、繰延税金負債が11億30百万円それぞれ増加したことなどによります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末に比べ7.7%減少し、946億38百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は前連結会計年度末に比べ0.9%増加し、1,274億46百万円となりました。これは為替換算調整勘定が10億57百万円増加し、利益剰余金が3億43百万円減少したことなどによります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ52億67百万円減少し、454億3百万円(前年同期末は488億87百万円)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の計上や売上債権の減少などにより増加したものの、仕入債務の減少、未成工事受入金の減少などにより、105億49百万円の資金減少(前年同期は64億42百万円の資金減少)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の払戻による収入などにより増加したものの、定期預金の預入による支出や有形及び無形固定資産の取得による支出などにより、7億11百万円の資金減少(前年同期は60億2百万円の資金減少)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出や配当金の支払などにより減少したものの、短期借入金の純増や長期借入れによる収入などにより、48億39百万円の資金増加(前年同期は30億98百万円の資金増加)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の業績予想につきましては、本日(2021年11月10日)公表いたしました「2022年3月期第2四半期業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	52,059	46,578
受取手形・完成工事未収入金等	101,413	91,978
有価証券	2,000	2,000
未成工事支出金	1,816	1,530
材料貯蔵品	679	906
その他	8,068	15,807
貸倒引当金	△649	△630
流動資産合計	165,387	158,170
固定資産		
有形固定資産	10,150	10,767
無形固定資産		
のれん	4,084	3,945
顧客関連資産	1,389	1,325
その他	2,976	2,825
無形固定資産合計	8,450	8,096
投資その他の資産		
投資有価証券	32,677	32,889
繰延税金資産	1,026	388
退職給付に係る資産	9,111	9,591
その他	2,100	2,230
貸倒引当金	△48	△50
投資その他の資産合計	44,866	45,050
固定資産合計	63,468	63,913
資産合計	228,855	222,084
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	52,050	40,502
短期借入金	6,588	12,727
未払法人税等	1,607	595
未成工事受入金	14,200	11,223
賞与引当金	—	1,762
完成工事補償引当金	475	468
工事損失引当金	403	307
役員賞与引当金	63	—
その他	11,528	9,016
流動負債合計	86,919	76,605
固定負債		
長期借入金	4,769	6,007
繰延税金負債	8,821	9,951
役員退職慰労引当金	40	46
役員株式給付引当金	171	105
退職給付に係る負債	1,507	1,576
その他	315	345
固定負債合計	15,625	18,032
負債合計	102,544	94,638

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,455	6,455
資本剰余金	5,058	5,058
利益剰余金	95,701	95,358
自己株式	△2,594	△2,543
株主資本合計	104,620	104,328
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,237	14,418
繰延ヘッジ損益	△3	△48
為替換算調整勘定	△237	819
退職給付に係る調整累計額	2,416	2,542
その他の包括利益累計額合計	16,412	17,732
非支配株主持分	5,277	5,384
純資産合計	126,311	127,446
負債純資産合計	228,855	222,084

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
完成工事高	81,590	92,413
完成工事原価	68,611	79,403
完成工事総利益	12,979	13,009
販売費及び一般管理費	9,787	10,246
営業利益	3,191	2,763
営業外収益		
受取利息	153	105
受取配当金	307	330
保険配当金	145	157
不動産賃貸料	50	65
為替差益	—	55
貸倒引当金戻入額	—	0
持分法による投資利益	—	0
その他	188	232
営業外収益合計	845	947
営業外費用		
支払利息	77	114
不動産賃貸費用	7	6
為替差損	101	—
貸倒引当金繰入額	0	—
持分法による投資損失	82	—
その他	56	30
営業外費用合計	324	152
経常利益	3,712	3,558
特別利益		
固定資産処分益	619	9
投資有価証券売却益	—	492
特別利益合計	619	502
特別損失		
固定資産処分損	155	44
減損損失	0	0
投資有価証券評価損	0	—
特別損失合計	155	44
税金等調整前四半期純利益	4,176	4,016
法人税、住民税及び事業税	176	464
法人税等調整額	995	1,690
法人税等合計	1,171	2,155
四半期純利益	3,005	1,861
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△65	174
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,070	1,687

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	3,005	1,861
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,182	180
繰延ヘッジ損益	△15	△45
為替換算調整勘定	△846	1,184
退職給付に係る調整額	353	126
持分法適用会社に対する持分相当額	△13	39
その他の包括利益合計	1,659	1,486
四半期包括利益	4,664	3,347
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,729	3,008
非支配株主に係る四半期包括利益	△65	339

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,176	4,016
減価償却費	1,079	1,276
のれん償却額	25	204
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△67	△32
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	△109	△99
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△16	5
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	—	△65
退職給付に係る資産及び負債の増減額	△7	△254
受取利息及び受取配当金	△461	△436
支払利息	77	114
固定資産処分損益 (△は益)	△463	34
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△492
投資有価証券評価損益 (△は益)	0	—
売上債権の増減額 (△は増加)	13,078	11,550
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△591	△389
未収入金の増減額 (△は増加)	△81	△186
仕入債務の増減額 (△は減少)	△17,625	△12,557
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	3,443	△3,586
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△677	△1,206
預り金の増減額 (△は減少)	△44	△96
未払費用の増減額 (△は減少)	△533	△581
その他	△6,324	△6,267
小計	△5,122	△9,048
利息及び配当金の受取額	459	436
利息の支払額	△77	△114
法人税等の支払額	△1,702	△1,822
営業活動によるキャッシュ・フロー	△6,442	△10,549

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,967	△2,203
定期預金の払戻による収入	1,275	2,384
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,667	△1,594
有形及び無形固定資産の売却による収入	673	100
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	—	565
投資有価証券の償還による収入	0	0
連結の範囲の変更を伴う子会社出資金の取得による支出	△4,290	—
長期貸付けによる支出	△12	△14
長期貸付金の回収による収入	30	34
保険積立金の積立による支出	—	△0
保険積立金の払戻による収入	0	—
その他	△44	17
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,002	△711
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	5,744	5,705
長期借入れによる収入	1,634	2,339
長期借入金の返済による支出	△1,644	△1,079
リース債務の返済による支出	△56	△51
自己株式の純増減額 (△は増加)	△0	51
配当金の支払額	△2,392	△2,052
非支配株主への配当金の支払額	△186	△68
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,098	4,839
現金及び現金同等物に係る換算差額	△613	1,154
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△9,959	△5,267
現金及び現金同等物の期首残高	58,846	50,670
現金及び現金同等物の四半期末残高	48,887	45,403

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これにより、履行義務の識別及び充足時点を検討した結果、工事請負契約等について、従来は進捗部分について成果の現実性が認められる工事については工事進行基準を、その他の工事について工事完成基準を適用しておりましたが、一定の期間にわたり収益を認識する方法に変更しております。

同様に検討した結果、保守メンテナンス契約等について、従来は役務提供の完了をもって収益を認識しておりましたが、一定の期間にわたり収益を認識する方法に変更しております。

一定の期間にわたり収益を認識する方法における履行義務の充足に係る進捗度の測定は、見積総原価に対する発生原価の割合(インプット法)で算出しております。なお、履行義務の充足に係る進捗度を合理的に見積もることができないが、発生する費用を回収することが見込まれる場合は、原価回収基準にて収益を認識しております。

また、営業外費用に計上していた売上割引については完成工事高より控除しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の完成工事高は727百万円増加し、完成工事原価は622百万円増加し、完成工事総利益、営業利益はそれぞれ105百万円増加し、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ119百万円増加しております。また利益剰余金の当期首残高は21百万円増加しております。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響について)

前連結会計年度の有価証券報告書における「(追加情報)新型コロナウイルス感染症拡大の影響について」に記載した仮定について、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (百万円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注2)
	環境システム 事業 (百万円)	塗装システム 事業 (百万円)	合計 (百万円)		
売上高					
外部顧客への売上高	57,325	24,264	81,590	—	81,590
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	—	3	△3	—
計	57,329	24,264	81,593	△3	81,590
セグメント利益又は損失(△)	4,460	△1,056	3,404	308	3,712

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失(△)の調整額308百万円は、各報告セグメントに配分していない全社損益(全社収益と全社費用の純額)308百万円及びその他の調整額0百万円が含まれております。全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費、受取配当金等であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「環境システム事業」セグメントにおいて、Nicomac Clean Rooms Far East LLP(現・Nicomac Taikisha Clean Rooms Private Limited)の持分を取得し、同社を連結子会社としました。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては3,432百万円であります。

また、上記の金額は企業結合に係る暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の見直しが反映された後の金額であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (百万円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注2)
	環境システム 事業 (百万円)	塗装システム 事業 (百万円)	合計 (百万円)		
売上高					
外部顧客への売上高	58,709	33,704	92,413	—	92,413
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	58,709	33,704	92,413	—	92,413
セグメント利益又は損失(△)	3,359	△409	2,949	608	3,558

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失(△)の調整額608百万円は、各報告セグメントに配分していない全社損益(全社収益と全社費用の純額)608百万円及びその他の調整額△0百万円が含まれております。全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費、受取配当金等であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に變更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の「環境システム事業」の売上高は541百万円増加、セグメント利益は45百万円増加し、「塗装システム事業」の売上高は186百万円増加、セグメント損失は73百万円減少しております。

3. (参考) 四半期財務諸表 (個別)

(注) この四半期財務諸表 (個別) は、四半期財務諸表等規則に基づき当社が任意で作成したものであります。

(1) 四半期貸借対照表 (個別)

(単位: 百万円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	19,308	16,138
受取手形・完成工事未収入金等	64,849	57,473
有価証券	2,000	2,000
未成工事支出金	448	56
材料貯蔵品	135	190
その他	4,152	8,061
貸倒引当金	△234	△233
流動資産合計	90,660	83,687
固定資産		
有形固定資産	4,085	3,822
無形固定資産	1,339	1,105
投資その他の資産		
投資有価証券	32,136	32,325
関係会社株式	14,432	14,373
前払年金費用	5,502	5,811
その他	1,286	1,663
貸倒引当金	△4	△3
投資その他の資産合計	53,354	54,171
固定資産合計	58,778	59,098
資産合計	149,439	142,786
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	30,293	22,758
短期借入金	2,357	2,243
未払法人税等	1,022	178
未成工事受入金	890	589
賞与引当金	—	1,727
完成工事補償引当金	184	169
工事損失引当金	193	204
役員賞与引当金	61	—
その他	7,733	5,877
流動負債合計	42,737	33,748
固定負債		
長期借入金	176	112
繰延税金負債	5,391	6,436
退職給付引当金	97	122
役員株式給付引当金	171	105
その他	71	95
固定負債合計	5,907	6,871
負債合計	48,645	40,619

(単位：百万円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2021年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,455	6,455
資本剰余金	7,413	7,413
利益剰余金	75,285	76,470
自己株式	△2,594	△2,543
株主資本合計	86,559	87,796
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	14,237	14,418
繰延ヘッジ損益	△3	△48
評価・換算差額等合計	14,234	14,370
純資産合計	100,794	102,166
負債純資産合計	149,439	142,786

(2) 四半期損益計算書 (個別)

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
完成工事高	46,053	47,810
完成工事原価	38,350	39,701
完成工事総利益	7,702	8,109
販売費及び一般管理費	5,924	5,956
営業利益	1,778	2,153
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	743	945
不動産賃貸料	84	100
技術指導料	657	621
貸倒引当金戻入額	—	0
その他	160	237
営業外収益合計	1,645	1,906
営業外費用		
支払利息	7	6
不動産賃貸費用	18	16
為替差損	9	24
貸倒引当金繰入額	0	—
その他	39	9
営業外費用合計	75	56
経常利益	3,348	4,003
特別利益		
固定資産処分益	592	—
投資有価証券売却益	—	492
特別利益合計	592	492
特別損失		
固定資産処分損	154	41
減損損失	0	0
関係会社株式評価損	—	59
特別損失合計	154	101
税引前四半期純利益	3,786	4,395
法人税、住民税及び事業税	126	229
法人税等調整額	944	967
法人税等合計	1,070	1,196
四半期純利益	2,716	3,199

4. 補足情報

(1) 四半期受注工事高、完成工事高及び繰越工事高の状況 (連結)

区分	前第2四半期 連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)		当第2四半期 連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	率 (%)
受注工事高						
環境システム事業						
ビル空調	16,169	17.1	24,557	27.9	8,388	51.9
産業空調	43,314	45.8	36,894	42.0	△6,419	△14.8
小計	59,483	62.9	61,452	69.9	1,968	3.3
(うち海外)	(19,478)	(20.6)	(13,373)	(15.2)	(△6,105)	(△31.3)
塗装システム事業	35,030	37.1	26,477	30.1	△8,553	△24.4
(うち海外)	(30,094)	(31.8)	(19,949)	(22.7)	(△10,145)	(△33.7)
合計	94,514	100.0	87,929	100.0	△6,584	△7.0
(うち海外)	(49,573)	(52.4)	(33,323)	(37.9)	(△16,250)	(△32.8)
完成工事高						
環境システム事業						
ビル空調	17,526	21.5	19,885	21.5	2,359	13.5
産業空調	39,799	48.8	38,824	42.0	△975	△2.5
小計	57,325	70.3	58,709	63.5	1,383	2.4
(注) 2, 3	(13,956)	(17.1)	(18,096)	(19.6)	(4,139)	(29.7)
(うち海外)						
塗装システム事業	24,264	29.7	33,704	36.5	9,439	38.9
(注) 2, 3	(20,178)	(24.7)	(26,176)	(28.3)	(5,997)	(29.7)
(うち海外)						
合計	81,590	100.0	92,413	100.0	10,822	13.3
(うち海外)	(34,135)	(41.8)	(44,272)	(47.9)	(10,137)	(29.7)
繰越工事高						
環境システム事業						
ビル空調	44,247	23.8	55,099	32.3	10,851	24.5
産業空調	73,147	39.3	66,262	38.9	△6,884	△9.4
小計	117,395	63.1	121,362	71.2	3,966	3.4
(うち海外)	(39,615)	(21.3)	(33,218)	(19.5)	(△6,396)	(△16.1)
塗装システム事業	68,536	36.9	49,121	28.8	△19,415	△28.3
(うち海外)	(61,135)	(32.9)	(41,161)	(24.1)	(△19,973)	(△32.7)
合計	185,932	100.0	170,483	100.0	△15,449	△8.3
(うち海外)	(100,751)	(54.2)	(74,380)	(43.6)	(△26,370)	(△26.2)

(注) 1 受注工事高、完成工事高及び繰越工事高は、外部顧客に対する取引金額となっております。

2 前第2四半期連結累計期間の環境システム事業の完成工事高57,325百万円とセグメント情報における環境システム事業の売上高57,329百万円との差異3百万円は、セグメント間の内部売上高であります。また、塗装システム事業の完成工事高とセグメント情報における塗装システム事業の売上高との差異はありません。

3 当第2四半期連結累計期間の環境システム事業の完成工事高とセグメント情報における環境システム事業の売上高、及び塗装システム事業の完成工事高とセグメント情報における塗装システム事業の売上高との差異はありません。

(2) 四半期受注工事高、完成工事高及び繰越工事高の状況 (個別)

区分	前第2四半期 累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)		当第2四半期 累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	率 (%)
受注工事高						
環境システム事業						
ビル空調	15,057	33.2	23,220	42.6	8,163	54.2
産業空調	23,806	52.6	23,510	43.2	△295	△1.2
小計	38,863	85.8	46,731	85.8	7,867	20.2
(うち海外)	(45)	(0.1)	(70)	(0.1)	(24)	(53.1)
塗装システム事業	6,448	14.2	7,716	14.2	1,268	19.7
(うち海外)	(2,307)	(5.1)	(2,095)	(3.9)	(△211)	(△9.2)
合計	45,312	100.0	54,448	100.0	9,136	20.2
(うち海外)	(2,353)	(5.2)	(2,165)	(4.0)	(△187)	(△8.0)
完成工事高						
環境システム事業						
ビル空調	15,855	34.4	18,615	38.9	2,760	17.4
産業空調	25,815	56.1	20,867	43.7	△4,948	△19.2
小計	41,670	90.5	39,482	82.6	△2,188	△5.3
(うち海外)	(36)	(0.1)	(204)	(0.4)	(167)	(457.5)
塗装システム事業	4,382	9.5	8,328	17.4	3,945	90.0
(うち海外)	(1,283)	(2.8)	(1,885)	(4.0)	(601)	(46.8)
合計	46,053	100.0	47,810	100.0	1,757	3.8
(うち海外)	(1,320)	(2.9)	(2,089)	(4.4)	(769)	(58.3)
繰越工事高						
環境システム事業						
ビル空調	43,126	49.3	54,209	55.4	11,083	25.7
産業空調	33,723	38.5	33,045	33.7	△677	△2.0
小計	76,849	87.8	87,255	89.1	10,405	13.5
(うち海外)	(210)	(0.2)	(37)	(0.0)	(△172)	(△82.1)
塗装システム事業	10,705	12.2	10,639	10.9	△66	△0.6
(うち海外)	(3,924)	(4.5)	(3,384)	(3.5)	(△540)	(△13.8)
合計	87,555	100.0	97,895	100.0	10,339	11.8
(うち海外)	(4,135)	(4.7)	(3,421)	(3.5)	(△713)	(△17.2)

(3) 地域に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

売上高

日本 (百万円)	北米 (百万円)	東南アジア		東アジア		インド (百万円)
		タイ (百万円)	その他の 東南アジア (百万円)	中国 (百万円)	その他の 東アジア (百万円)	
47,455	7,591	6,695	7,868	5,140	648	1,449

その他 (百万円)	合計 (百万円)
4,742	81,590

当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

売上高

日本 (百万円)	北米 (百万円)	東南アジア		東アジア		インド (百万円)
		タイ (百万円)	その他の 東南アジア (百万円)	中国 (百万円)	その他の 東アジア (百万円)	
48,140	9,330	9,085	8,129	5,230	975	4,612

その他 (百万円)	合計 (百万円)
6,908	92,413